



白銀

200名の会員、100名のメイト読者を目指そう！

新日本スポーツ連盟神奈川県スキー協議会
横浜市神奈川区神奈川2-14-16トリクビル3F
Tel045-534-5557 Fax045-534-5554
発行責任者:杉田
編集:宮川・古屋・吉越幸・北村・田中
Email: mail@kanagawaski.org
URL: <https://kanagawaski.org>

I 奥信濃アルペン 2020 報告 競技部 吉越



神奈川県スキー協会のアルペンスキー大会「奥信濃アルペン2020」が2/15～16、長野県飯山市の戸狩温泉スキー場で開催されました。

ゲレンデは本格的な競技コースのイモハコース（旧ツルブリッケンコース）。急斜面からスタートするコースは迫力十分！選手は果敢に斜面に飛び込んでいきました。

奥信濃アルペンは初日の大回転競技と二日目の回転競技の総合タイムを競う大会で、選手の得手不得手によりタイムが大きく変わります。時速50キロ以上のスピードからくる遠心力に耐える大回転、細かなコース設定を記憶して多くの旗門を滑る回転と、異なる種目を2日間で体験できる大会は意外と少ないため参加者は大変満足していました。

各クラスの優勝者は壮年男子クラスが杉田さん、青年男子クラスが翔平さん、ジュニアクラスが小雪さんでした。



II 障害者交流スキー報告 だいすきー 渋谷

私は、障害者交流スキー（以下交流スキー）を通じてスキーを覚えました。そして、この数年シーズン初すべりは交流スキーのツアーで、今シーズンも交流スキーが初すべりとなりました。

場所は白樺高原国際スキー場で、1月18日、朝8時桜木町を出発のバスに乗りました。ツアー全体が27名で20名以上が同じバスだったと思います。今年は雪が少なくチェーンも巻かずに宿の近くまで行けたこともあり、午前中には宿に着きました。

18日の午後と19日の午前中、二日とも私はKさんのガイドで滑りました。Kさんは私が交流スキーに初参加した30年程前からガイドをしていただいています。



蓼科メドウズスポーツドミトリでの
昼食の風景

私は弱視で、ガイドさんの背中を目標に滑ります。前での誘導は、スピードは勿論のこと、コース取りも大変だと思います。

今回のゲレンデは、スキーヤーのみで、スノーボードは禁止なのでその点は誘導も楽だったのかもしれませんがKさんの誘導で安心して滑ることができました。

現在、中学生のM君が初めてこのツアーに参加した頃はまだよちよち歩きだったそうです。それが現在ではスキー技術が上達し、ガイドができるまで成長したとのことでした。

また、ガイドのOさんは、電子音の出るメトロノームを拡声器に取り付けて誘導をしていました。

誘導に対するベテランの技術、ユースの成長、そして新たな工夫。これからはまだまだ期待できる交流スキーの初すべりでした。

III ハイシーズン突入！クラブ行事報告

DSSC はじめての万座温泉スキー場 DSSC 田中

1月18日～19日の日程で万座温泉に行ってきました。参加者は、12名。

過去のクラブ行事の記憶では万座は初めてとなります。それはなぜか？

- ・高速を降りてから遠い、道がクネクネだから。
- ・碓井軽井沢ICから一般道を約1時間45分。
- ・ただ、道路に雪が無くてこの時間なので、雪道なら2時間30分はかかるだろうか。
- ・道が怖い。

という事なのだ。

さて、宿泊先はプリンスの万座高原ホテル。なんとと言っても温泉。宿泊者専用のお風呂もありますが、日帰り客も利用する露天風呂は、脱衣場こそ男女別々ですが、露天風呂は混浴!!! 7か所ほどに分かれていて泉質はそれぞれ異なっています。香ばしい臭いの硫黄泉です。スキーより温泉、花より団子の人にはピッタリ。!(^_^)!



ゲレンデも負けていません。とっつきは斜面は広大ですが斜度が20度前後あり上級者向き。でもクワッドリフトに乗り、上に上がると中斜面が広がっています。しかも標高が高いため雪もサラサラです。下のゲレンデは暖かい、上のゲレンデは寒い、となります。



今回は子供たちも参加。主に上の中斜面や、どうぶつの森コース（林間コース）を楽しく滑っていました。

おじさん、おばさんたちは、スキーを3時頃上がり、露天風呂にたっぷりつかり、部屋で宴会三昧。ハ～ちょっと胃が疲れました。

温泉のおかげで二日酔いの人は誰もいませんでしたよ。
^^) _旦~~

~~~~~

**蔵王スキーまつり!! 28人参加 悠遊SC 北村**

1月19日～22日の3泊4日、28人が参加。

新幹線で「かみのやま温泉駅」へ、そこから蔵王温泉まで貸切バスにて到着。心配した雪も全山滑走可能とはいかないが、まずまずの積雪量で一安心。6教室で1教室3～4人という贅沢な教室編成でした。



2日目は濃いガスで、前の人を見失いそうな中でも、悠遊らしく果敢に滑る。

この夜は班別ミーティングで、各班とも技術談義で時間いっぱい行われた。

外を見ると雪がしんと降っている。かなり積もりそう。明日は期待できそう。

3日目は50cm程つもりコンディションは良いが、雪が降り続き視界が悪そう。最初は上部の中央ゲレンデで滑っていたが風が強く、下の上ノ台ゲレンデへ降りる。途中かなり新雪が積もり気持ちよくロングコースを滑った。

この日の夜は、「夕食・交流会」。すっかりお約束の「オカメヒョットコ」の名演と、班ごとの紹介、女性コーラスそして男性コーラスと大いに盛り上がった。

4日目は自由滑走。快晴の素晴らしい天候の中、ロープウェイで地蔵山頂へ。月山、朝日・飯豊連峰、遠くに鳥海山と東北の山々がみられる。「蔵王の樹氷」もまだモンスターとは言えないが独特な風景である。ザンゲ坂、ザイラーコースから大平コースを滑り降り今回は終了。

事故もなく、全員無事に「山形駅」でにこやかに解散。

~~~~~

スノードルフィン 1月スキー行 in 戸狩温泉スキー場 横須賀スノードルフィンSC 古屋

横須賀スノードルフィンSCの2020シーズン1月のスキー行は、1月24日(金)の夜に横浜・都内を出発して現地1泊2日のスケジュールで、戸狩温泉スキー場に行きました。

7名の参加、車2台に分乗し、神奈川県スキー協の御用達の「岸田屋」さんに宿泊しての実施です。



今年は暖冬で、1月24日のウェザーニュースでも「暖冬でスキー場の雪不足は深刻化 4分の1はまだ滑走できず」という記事が載っているほどです。

戸狩温泉スキー場は、積雪90cm・全面可となっていました。ペガサス・オリオン両ゲレンデとも、最下部は山から出してきた雪を敷いているという状況でした。

雪不足の影響か、例年だと雪が多くクレパス等が発生している為にクローズしているとん平ゲレンデの坂落としコースが入れるようになっていて、数年ぶりに滑ってきました。

また、集合写真でも、メンバーの左側は畑に雪がありますが、右側は雪が無くまっ茶色。戸狩～野沢温泉～志賀高原にかけて、雪の降る線があるんですかね？

ゲレンデの雪がそんな状況でしたので、そこはドルフィンのメンバー。

初日は、しっかり滑りましたが、2日目の朝は、女性陣はいつ「行くぞ！」って言われても良いように準備をしましたが、朝食後に布団の潜ってしまう者や落語を聞いて着替えすらしない者等、まったくゲレンデに行く気が0の男性陣。

結局は、お昼ごろに宿を出て早めの帰宅となりました。

雪で濡れた板やブーツを車に積むのでは無く、しっかり乾いたものを積んだので、車内はきれいでした。

~~~~~

### Ⅲ 神奈川スキー協52期シーズン日程表

| 日程       | 神奈川スキー協の行事  | 関東B/全国スキー協の行事 |
|----------|-------------|---------------|
| 5月       | 第2回クラブ代表者会議 |               |
| 6月13～14日 |             | 全国スキー協総会      |
| 7月5日     | 第53回定期総会    |               |



※春スキー祭典、神奈川スキー協カップは新型コロナウイルスの影響を考慮し、中止といたしました。

#### ◆編集後記◆

新型コロナウイルスが世界各地で猛威を振るっています。

ご存じの通り日本国内でも感染拡大が報告され、多数のイベントが中止に追い込まれています。

スキー協が加盟するスポーツ連盟においても、政府要請に応えざるを得ない空気の広がりもあり、月例マラソンなど多くのイベントが中止を余儀なくされており、影響が日に日に広がっています。

スノースポーツ界においても多数の観客が集まるイベントや長距離移動を伴う修学旅行は軒並み中止となっており、スキー場や宿への影響も大きくなっています。

感染防止策を冷静に検討していけば開催できたイベントもあったかもしれません。こんな時だからこそ、さまざまな条件を考えながら、スポーツを楽しむたいと思います。  
(よ)